

SDGsを取り入れた事業計画書

1 企業・事業概要

① 企業概要と理念

当社は1941年の創業以来、ものづくりにこだわり続け、レンジフードをはじめとした空気環境改善に繋がる製品の開発・生産・販売・サービスをおこなっている。経営理念にある「人々の生活により豊かさ快適さを提供し、且つ我々社員全ても常に向上心をもってより豊かな生活を共有出来る企業を目指す」は、持続可能な企業活動をおこないながら、人々の暮らしや社会にある課題を解決していくことであり、これはSDGsの考え方に合致している。

② SDGs事業の概要

本事業に取り組む背景は、以下の3点である。

- 当社では、油汚れの清掃がしやすいオイルスマッシャー搭載レンジフード/フライヤー用フードの生産・販売をおこなっている。これらの製品は、エンドユーザーが抱える課題を解決することが可能な社会的価値の高い製品（以下 高付加価値製品）である。高付加価値製品では空気環境とシナジーがある水環境を改善し、人々の生活の快適さを提供していきたいと考える。なお、レンジフードは家庭での調理時に使用する製品、オイルスマッシャー搭載フライヤー用フードは現時点ではコンビニのホットスナック調理時に使用する製品であり、調理時に発生する油煙やニオイを換気する。
- オイルスマッシャー搭載レンジフード/フライヤー用フードは油汚れの清掃がしやすい製品であり、清掃時間が短くなることから清掃時の使用水量削減に繋がるため環境負荷低減に貢献することができる。また、高単価であるこれらの製品の販売台数が増えることで自社及び取引先に利益をもたらす企業成長にも繋がる。
- 上記製品のエンドユーザーと抱える課題については以下になる。

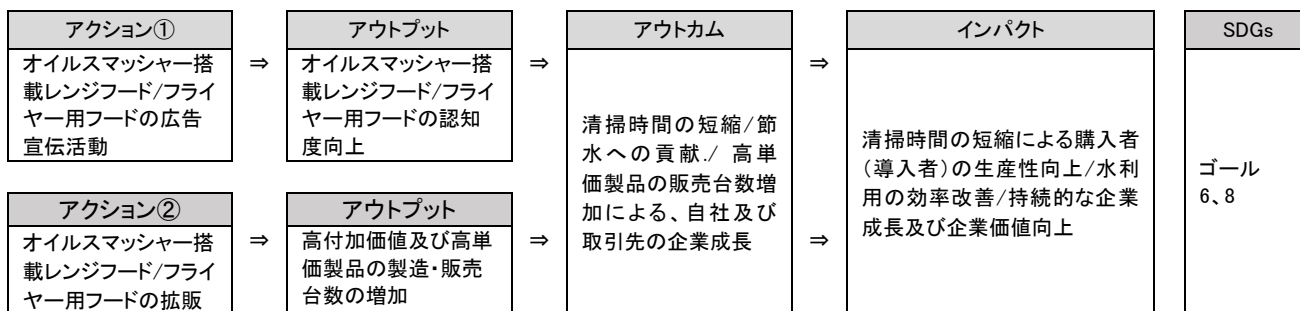
製品	エンドユーザー	抱える課題
オイルスマッシャー搭載レンジフード	一般家庭	清掃の手間・水道料金の増大
オイルスマッシャー搭載フライヤー用 フード	コンビニ	

このような背景を踏まえて、本事業ではオイルスマッシャー搭載レンジフード/フライヤー用フードの販売台数を増加させることでユーザーの抱える課題の解決に貢献する。同時にこれらの製品の販売台数を伸ばすことで自社及び取引先の企業成長に繋げ、清掃時の水使用量を削減させることで水利用の効率改善にも貢献する。

2 SDGsとの紐づけ

① 具体的なアクション

本事業の取組をSDGsのゴールに紐づけると下記になる。



② 社会的なリターン

社会的なリターンについては、アクション①②でオイルスマッシャー搭載レンジフード/フライヤー用フードの認知度を高め拡販することで、購入(導入)者を増やし清掃時間の短縮による生産性向上と水利用の効率改善に繋げる。オイルスマッシャー搭載レンジフードについては、当社の普及製品よりも清掃時間を約 75%削減、清掃時の使用水量を 1 年間で約 70%削減することができる。オイルスマッシャー搭載フライヤー用フードについても、拡販することで清掃時の水利用率改善に繋げる。

3 経済的価値創出との関係

本事業の経済的なリターンは、アクション①②による企業の持続的な成長及び企業価値向上である。オイルスマッシャー搭載レンジフード/フライヤー用フードは、高単価であるため、販売台数が増加することで自社の利益率拡大に繋がる。エンドユーザーの課題を解決するだけでなく利益も確保することで企業として持続的に成長することができる。また、企業理念を体現したエンドユーザーの課題を解決する製品の周知を行うことは企業価値向上にも繋がる。

4 事業展開(スケジュール)

① 全体のスケジュール

アクション①については以前より広告宣伝(TVCM 放送や雑誌・新聞・WEB 広告の展開など)の取組みをおこなっており、オイルスマッシャー搭載レンジフード/フライヤー用レンジフードの認知度向上を目標とする。アクション②については、オイルスマッシャー搭載レンジフードは得意先へ提案を行い売上増大を目指し、オイルスマッシャー搭載フライヤー用フードは販路拡大を目標に取り組んでいく。

	2020年	2021年											2022年
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	～
アクション①	→												
アクション②	→												

項目	アクションの概要	担当部門
アクション①	オイルスマッシャー搭載レンジフード/フライヤー用フードを周知するTVCM や広告宣伝の実施	営業部門 広告宣伝部門
アクション②	・オイルスマッシャー搭載レンジフードの得意先提案による拡販 ・オイルスマッシャー搭載フライヤー用フードの販路拡大(導入メリットを明確化し導入店舗の増大)	営業部門